

令和元年度 第5回 青森支部評議会の概要報告

開催日時	令和2年1月14日（火）10：00～11：35
開催場所	全国健康保険協会青森支部 会議室
出席評議員	秋田谷評議員、石田評議員、大坂評議員、小山田評議員、木村評議員、白川評議員、高杉評議員、藤沼評議員、安田評議員（五十音順）
議題	[審議事項] - 令和2年度の保険料率（案）について - 令和2年度の青森支部事業計画（案）について - 令和2年度の青森支部保険者機能強化予算（案）について [報告事項] - 令和2年度の介護保険料率について - 令和元年度の青森支部医療費適正化等予算実施計画の変更について
議事概要 （主な意見等）	審議事項1及び報告事項1について、事務局より資料に基づき説明。 ●令和2年度の保険料率（案）について 【事業主代表】 事業主の立場からみると、ここ10年間で社会保険料の年間負担額は1人当たり約10万円増えている。これ以上の負担増は雇用に影響してくるので、総合的な雇用対策の中でも保険料について考える必要があるのではないか。 運営委員会での議論がさらに深まることを期待している。制度設計そのものは国の方で考えるべきことなので、運営委員会や評議会はどこを議論の中核にするのか。合理的に物事を整理していくことがより良い制度設計に近づくのではないかと。 【学識経験者】 中長期で考えるとは具体的にどのくらいの期間を想定しているのか。 （事務局） 団塊の世代が後期高齢者に入り始める2022年から2025年を基本として、2040年には高齢者の人口がピークを迎えるので、そのような中長期的な観点でシミュレーションするということです。 また、これまで評議員の皆様からご意見があったとおり、保険料率を考える上では様々な要因が変動することが考えられるため、毎年弾力的に考えていくということになります。 【被保険者代表】 令和2年度の協会けんぽ収支見込（医療分）では4.8か月分の準備金が積み上げるというが、この準備金

備金は手を付けずに積み増しをするという考え方なのか。

(事務局)

準備金の在り方については明確な発言がなされていないため、各支部の評議会において様々な意見が出されています。中長期的な観点を重視して平均保険料率を 10%としてシミュレーションすれば当面は準備金が積み上がる形となるのでこれらは整合的に考えていく必要があります。

【被保険者代表】

平成 29 年 12 月 19 日運営委員会での理事長発言をもとに物事が動いている気がするが、これは理事長の個人的な見解なのか、それとも本部の方針なのか明確にしたほうがよいのではないかと。

また、国民皆保険制度の中でインセンティブを受けることができず保険料率も上昇する支部があることも考える必要があるのではないかと。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。保険料率が最高の支部と最低の支部の差が 1%を超えて、さらにその差が広がっている状況について検討が必要であることは当支部や他の支部から同様の意見が出ております。そのあたりの状況については本部においても認識しているところです。

【議長】

令和 2 年度の青森支部の保険料率が 9.88%となる件について、法定額を大きく上回り積み上がる準備金残高の在り方について定量的な適正水準を設けるべきではないのか、という意見を付け加えたうえで青森支部評議会として了承してよろしいかと。

(出席評議員の了承を得る)

審議事項 2 について、事務局より資料に基づき説明。

●令和 2 年度の青森支部事業計画（案）について

【事業主代表】

受診勧奨後 3 か月以内に医療機関を受診した者の割合の KPI が 12.9%となっている。目標値として低い印象を受けるが実際はどれくらい受診しているのか。

(事務局)

今年度の青森支部実績では現状 9.57%の方が受診されています。平成 29 年度においては弘前市医師会と、今年度は青森市医師会と連携して糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施していますが、地域性もあるのか勧奨してもなかなか受診に結び付かない現状があります。

前回の評議会では評議員の皆様からいただいたご意見を踏まえて、令和 2 年度は事業所を通じた受診勧奨業務を重点的に行い、効果的に重症化予防対策を実施していきたいと考えています。

【事業主代表】

事業計画の KPI や数値目標はどのような基準をもとに設定しているのか。

(事務局)

全支部共通の重要業績評価指標である KPI は、前年度実績を上回る水準であり、なおかつ協会全体の KPI も達成できる水準を見込んで設定しております。

【学識経験者】

事業計画の新規取組事項としてペーパーレス化の推進を掲げているが具体的な施策はあるか。

(事務局)

ペーパーレス化の推進は約 3 年後に予定している業務・システム刷新の開発を見据えて本部の事業計画の中で掲げている重点取組事項ですが、支部においてもペーパーレス化できる分野があれば推進していきたいと考えております。

【議長】

令和 2 年度青森支部事業計画(案)について、青森支部評議会として承認してよろしいか。

(出席評議員の了承を得る)

審議事項 3 及び報告事項 2 について、事務局より資料に基づき説明。

●令和 2 年度の青森支部保険者機能強化予算(案)について

【被保険者代表】

支部保険者機能強化予算に準備金を充てているのか。当予算と準備金は目的が異なるのではないか。

(事務局)

令和 2 年度の支部保険者機能強化予算の決定にあたって、昨年より予算枠が増額している部分については準備金が充てられていると聞いています。支部保険者機能強化予算は、支部評議会の評議員の皆様のご意見を踏まえながら、医療費の適正化や加入者の健康増進を図ること等について、地域の実情に応じたきめ細やかな取組を行うために創設されています。

●令和元年度の青森支部医療費適正化等予算実施計画の変更について

【事業主代表】

県内に薬局はいくつあるのか。作製するお薬手帳カバーの単価はいくらか。

(事務局)

県内の薬局は約 700 件あります。そのうち青森支部の事業にご賛同いただいている約 600 件の薬局に対してジェネリック医薬品に係る調剤状況等について情報提供を行う予定です。お薬手帳カバーの単価は約 65 円を見込んでいます。

【議長】

令和2年度青森支部保険者機能強化予算(案)について、青森支部評議会として承認してよろしいか。

(出席評議員の了承を得る)

以上

特記事項

- ・傍聴者 東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報（3社とも翌日朝刊に記事掲載あり）
- ・次回は3月に開催予定